

2018年 東海大学日本語文化学系国際シンポジウム
協働・実践・多元学習—言語と社会文化の交錯

開催日：2018年1月20日(土)
会場：東海大学人文大樓茂榜廳

協辦單位：
科技部、教育部、東海大学研究發展處

【日程】

時間	内 容		
08:30	報 到		
08:50	報 到		
08:50 09:00	開幕式（王茂駿校長、北川修一主任）		
	第一部 基調講演 司会：北川修一		
09:00 09:50	山田泉 地球市民教育としての多文化教育、日本語教育		
09:50 10:40	古川ちかし シラバスのむこう側：全体主義と市場主義に抗して		
第二部 研究発表と討論 (論文発表と討論時間合わせて一人20分)			
第一セッション			
	教室	発表者	発表題目
10:50 12:30	「言語科目の中の社会・文化」 教室:H103 司会：緒方智幸	謝億榮	日本語教育と文化学習の連結—異文化学習の試み
		張又華 林盈萱	タスクに基づく言語指導法における学習者の「産出」に関する評価基準の考案-JFスタンダードの評価基準を参考に—
		黃淑燕	中級読解——日本現代社会文化を読む
		尹鎬淑	社会・文化的背景による日本語教材の変化及び協働学習
	「日文系における社会・文化科目は何を目指すのか」 教室:H104 司会：松永稔也	許均瑞	「ニュースの日本語」における労働観の可視化プロジェクト学習—概念の構造化・協同技法「ワード=ウェブ」の利用—
		名嶋義直	「いま、ここ」にある社会問題をより深く理解するための批判的談話研究—沖縄オスプレイ「墜落」事故の新聞記事分析—
		金想容	日本統治時代の台湾における「味噌」の生産と消費—1900年~1945年を中心に—
	「現実の社会、人々とつながる教育実践」	工藤節子	日台の学生の協働とコミュニティの交流における課題

時間	内 容		
	【昼食】 〔ポスターセッション：本学科（院）学生の実践活動報告〕 発表会場：茂榜廳外側オープンスペース		
12：30	①	「Mプロ—Media project 媒体越境活動計画—」 発表者：趙翎君、劉映伶、許筠靈、陳柏君	
13：30	②	「ファームステイ、私たちの十日間」 発表者：黃真實、葉芷好、郭家欣	
	③	「命の守り方—海外労働と格差社会」 発表者：游韻加、阿部康平	
	④	「少子高齢化社会における日本住宅問題と再生対策—大阪千里ニュータウンを事例として—」 発表者：林奥倫	
第二セッション			
	教室	発表者	発表題目
13：30	「日文科における社会・文化科目は何を目指すのか」 教室：H104 司会：富田哲	蕭幸君	〈文学〉と〈サブカルチャー〉との間—東海日文科「日本近現代表象文化論」を一事例として
		Jones Jason Christopher	教育装置としての「ワイン・マンガ」—日本の漫画家が広める多言語のワイン教育
		松永稔也	言語の社会的位置付けを考える授業—台日社会言語分析（一）（二）—
14：50	「現実の社会、人々とつながる教育実践」 教室：H103 司会：羅曉勤	林珠雪	領域間の提携と社会実践—農食育交流を中心に—
		佐藤良子	子ども食堂—大学と地域社会との連携—
		平澤佳代	必修科目「サービス学習」の実践について—朝陽科技大学応用英語学科を例に—
15：00	【休憩】 ポスターセッション		
15：30			
第三セッション			
	教室	発表者	発表題目
15：30	「日文科における社会・文化科目は何を目指すのか」 教室：H104 司会：許均瑞	林珠雪	交流活動による学習と実践—「台日基層コミュニティー交流」を中心に—
		荒井智子	共に作り上げていく学びのかたち—日本語演劇の授業で—
		張瑜珊	内容学習を重視したビジネス日本語の試み
16：50	「現実の社会、人々とつながる教育実践」 教室：H103 司会：工藤節子	宮谷敦美	地域産業界と連携した多言語 PBL での学び：グローバル社会で必要な能力の養成を目指した「地域ものづくり学生共同プロジェクト」の取り組みを基に
		羅曉勤	地域社会とのつながりを目指す日本語翻訳授業での試み
		梅田康子	海外インターンシップ 13 年間の成果と課題
17：00	総合討論		
18：00	山田泉・古川ちかし・緒方智幸・松永稔也・富田哲・羅曉勤・許均瑞 司会：工藤節子 閉会		